

文部科学記者会、横浜市政記者クラブ
同時発表

2026 年 9 月 11 日
横浜市立大学
立命館大学

横浜市立大学と立命館大学が包括連携協定を締結 J-PEAKS を通じて研究力向上と研究支援体制の強化を推進

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（以下、J-PEAKS）^{*1}」採択大学である、横浜市立大学（神奈川県横浜市、学長：石川 義弘）と立命館大学（京都府京都市、学長：仲谷 善雄）は、その趣旨を踏まえ、両大学が有する研究資源、研究基盤及び教職員の知見を活用しながら、研究力の向上、研究基盤・研究推進機能の高度化ならびに教職員間の連携強化を図ることを目的とした包括連携協定を 2026 年 9 月 8 日付で締結しました。

近年、研究大学には、高度な研究成果の創出に加え、それを支える研究基盤の整備や研究開発マネジメント機能の強化が求められています。横浜市立大学はこれまで、医学とデータサイエンスを強みとし、研究力のさらなる向上に取り組むとともに、公立大学として、地域社会や自治体、企業などとの連携を通じ、社会課題の解決に貢献してきました。一方、立命館大学は「次世代研究大学」の実現に向け、世界水準の研究力強化と社会課題の解決につながる研究成果の創出を推進しています。両大学は、本協定を通じて公立・私立の垣根を越え、首都圏と関西圏をつなぐ広域的な研究連携ネットワークの構築を目指します。

また、研究者間の交流や共同研究の創出に加え、若手研究者や博士課程学生、URA^{*2}などの研究支援人材の育成・交流を進めることで、研究を支える体制の充実にも取り組みます。

協定の主な連携事項

- ・ 研究の推進および研究者間の交流促進
- ・ 共同研究、調査研究、実証研究などの創出および推進
- ・ 研究基盤（研究設備、実証フィールド、データ基盤、研究支援機能など）の相互活用および高度化
- ・ 若手研究者、博士課程学生および研究支援人材の育成・交流
- ・ 研究成果の社会実装、産学官連携および地域連携の推進
- ・ 研究戦略、研究開発マネジメント、研究 IR などに関する情報共有および相互連携
- ・ 教職協働による研究推進体制の構築に向けた連携・情報交換

今後の展開

両大学は、本協定に基づき、研究活動を支える研究開発マネジメント体制の強化や研究支援人材の育成に向けた連携を進めるとともに、研究基盤の相互活用や共同研究の創出に取り組めます。研究者と研究支援人材がそれぞれの専門性を生かしながら協働することで、より効果的な研究推進体制の構築を目指します。

なお、本協定の締結を契機として、両大学の取り組みを広く発信するとともに、研究者と研究支援人材の連携について議論するシンポジウムを開催します。

<シンポジウム概要（予定）>

日時：2026 年 10 月 23 日（金）13:30～16:00

会場：立命館東京キャンパス（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー8 階）

内容：両大学における J-PEAKS 及び大学改革の取組紹介のほか、研究者と研究支援人材の協働や研究プロジェクト形成における支援人材の役割などをテーマとした意見交換を予定しています。

用語説明

- *1 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）：文部科学省が実施する事業で、地域の中核大学や特色ある研究大学が、研究力の向上と大学改革を一体的に推進し、我が国全体の研究力向上を牽引する研究大学群の形成を目指す。研究活動の国際展開や社会実装の促進、研究基盤や研究支援体制の強化などを通じて、各大学の特色を生かした研究大学としての発展を支援している。令和 5 年度及び令和 6 年度に全国 25 大学が採択され、横浜市立大学および立命館大学は令和 6 年度に採択された。
- *2 URA（University Research Administrator）：研究戦略の企画立案や外部資金獲得支援、研究プロジェクト形成支援などを担い、研究活動を専門的に支援する人材。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS** 横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じて SDGs の達
成を目指します。

